



生活の中から生まれてくる

ユニークな感性を

持つ女性は、ファッションをヨサガル。

石津謙介

電話をかけた瞬間、いきなりMPをノックしてみた。「まあ、何をしてくるのなと思つたり、誰かどっかへなと一寸気にしたり。」

丸のマーカーのついたオリーブ色のトリーナードに、真白のロングスカーポートをあて来た。フエスタオルで作ったの、とつてマ暖い、と、たがう、ほく自慢する。

浴室の中で白いワイシャツを天井から下げている。そういえば、いつか洗濯したての男もののワイシャツを無雑作に素肌に着ている。洗ったものをどうして乾かすんだというか。乾いたそのまま、何となくそのよつたのをいつかうフに着ている。

ファッション上なんというかは、新しいデザインや流行色のことじゃなくて、洗濯の仕方を、いろいろ考えた。乾かし方を工夫したり、こんな生活の中からは生まれてくるユニークな感性のことばかりなあと、実は専ら家の物に感じています。